

シャドーイングで学ぶ英語

—インプットをアウトプットにつなぐ—

Developing English Fluency through Shadowing

門田修平

長谷尚弥

氏木道人

シヨーン・ホワイト



Nan'un-do

Developing English Fluency through Shadowing

Copyright© 2011

by

Shuhei Kadota

Naoya Hase

Osato Shiki

Sean A. White

All rights reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

はじめに

本書は、「シャドーイング (Shadowing)」および関連するタスクを通じて、英語インプットの理解からアウトプット (Speaking) へとスムーズに学習ができることをめざすものです。

● Bottom-up Shadowing ●

Bottom-up Shadowing は、英語の音声を聞いて、その後すぐにそのまま繰り返す練習です。英語のネイティブスピーカーの発音を丸ごと覚えてしまいますので、英語の発音そのものをネイティブ並に鍛え、さらに英語のリスニング力をアップしようとするものです。

● Top-down Shadowing ●

Top-down Shadowing は、英文テキスト内の語彙・構文やテキストの内容を把握した上で行う Shadowing のことで、語彙力・文法力など、英語の発音以外の知識をアップしようとするものです。

Bottom-up Shadowing → Vocabulary, Comprehension, & Grammar Check → Top-down Shadowing

の順にトレーニングを積んでいきます。そうすることで Shadowing の次の2つの効果が期待できます。

(1) 英語の音声を聞いて、その音を認識する過程を自動化して、意識しなくても簡単にわかるようになります。

(2) 上記 (1) の自動性を高めることで、テキストの内容理解を促進し、その結果テキスト内の語彙・構文の定着をはかり、スムーズにアウトプット (Speaking) につながります。そうすることで accuracy (正確な言語知識) とともに fluency (自動的で流暢な運用能力) を備えた、英語インプットの理解からアウトプットへと至る学習がスムーズにできるように配慮しました。

皆様のご健闘を祈ります。

2010年8月20日

門田 修平
長谷 尚弥
氏木 道人
ショーン・ホワイト

本書の学習法

本書では合計7つのエッセイをもとに学習します。そして、各エッセイをそれぞれ前半と後半の2つに分けて、それらを2つの Units で扱います。各 Unit の学習タスクは次の通りです。よく読んで効果的に学習できるようにしましょう。

01 First Listening:

まずは、Bottom-up Shadowing 用の朗読音声聞いて、どのような内容であるかを理解するようにします。通常2～3回聞けば十分です。内容の詳細にこだわる必要はありませんが、仮に内容が十分に理解できない場合でも、気楽に分かる部分を楽しんでください。

02 Bottom-up Shadowing:

次に、音声を聞き、すぐ後に付けて復唱する Shadowing の練習をします。この段階では決して英文テキストは見ないようにします。完璧主義を捨てて、どの程度 Shadowing できるかチャレンジするという精神が大切です。最初は個人で、続いてペアで交互に練習します。

03 Performance Check:

ここでは、Shadowing がどの程度できているかについてチェックします。これは、担当の先生から本書とは別の採点用紙を配布してもらって実施します。指定用紙には、Bottom-up Shadowing 用のテキストに一部太字で印字された語が含まれています。他の部分は無視し、その太字の単語が Shadowing でほぼ再生できているかどうかを判断します。自身で行うだけでなく、別の学生とペアを組み、その人にチェックしてもらおうとよいでしょう。あるいは iPod や IC レコーダに録音できる場合は、録音・再生して自身でチェックします。

04 Vocabulary Check:

これは、テキスト中の重要な語彙について、その語の適切な定義を選択する問題です。英文中でその語がどのような意味で使われていたかを、できるだけ前後の文脈を思いだして推測するようにしましょう。

05 Comprehension Check:

テキストを読み、質問の英文がテキストの内容に合致しているか否かを、T (True) / F (False) 形式で判断してください。合致していれば T を、合致していなければ F を記入します。

06 Grammar Check:

これはテキスト中の英文に含まれる重要な構文や表現についての解説および練習問題です。解説をよく読み、担当の先生の説明と併せて理解しましょう。その上で練習問題を解いていきます。

07 Parallel Reading:

正確な Top-down Shadowing を目指しつつ、ここでは、まず英文テキストを見ながら意味内容を追いかけます。同時に朗読音声に付いて、遅れないように繰り返します。可能な限り、英文の意味内容を誰か別の人に聞かせる気持ちで行なってください。その際、朗読音声に含まれるリズム・イントネーションなどのプロソディをできるだけ模倣するようにします。

08 Top-down Shadowing:

ここでは、英文テキストを見ないで、意味内容に注意しながら、前置詞、冠詞、単数・複数、動詞の変化などにも留意しつつ、英語音声の後をすぐにぴったりと追いかけるように復唱します。このトレーニングは、すでに学習した英文中の未知語や未知の構文などを何度も Shadowing することで自然に覚えてしまうという効果があります。

09 Performance Check:

ここでは、Shadowing がどの程度できているかをもう一度チェックします。これは、担当の先生から本書とは別の採点用紙を配布してもらって実施します。指定用紙には、英文テキストに一部太字で印字された語が含まれています。他の部分は無視し、その太字の単語が Shadowing でうまく再生されているかどうかを判断します。

また、テキスト中のすべての単語を対象に、Shadowing でできなかった箇所に下線を引き、「100 マイナス誤り語数」で成績を出す方法もあります。

これらのチェックは自分自身で行なうだけでなく、別の学生とペアを組み、その人にチェックしてもらおうとよいでしょう。あるいは iPod や IC レコーダに録音できる場合は、録音・再生して自身でチェックします。

10 Repeating:

これは、すでに学習し、Top-down Shadowing をした英文テキスト内の語彙や表現を内在化、つまりいつでも口をついて出てくるように定着させるためのトレーニングです。聞いたあとといったん覚え、その後ポーズの間に英文を再生します。

あるいは、この Repeating の代わりに、Read & Look-up という方法を活用してもよいでしょう。これもテキスト内の語彙や表現を覚えてしまうためのトレーニングです。これは次のような方法で行ないます。なお、このトレーニング用として、斜線 (slash) が入ったテキストが印刷されています。この斜線から斜線までの単位はチャンク (chunk) といわれ、ほぼ句や節 (単文) などの単位にあたります。ペアの相手と教科書を交換しながら実施します。

- (1) 2人ペアになり、先生役と生徒役に分かれます。
- (2) 先生役が、“Read!” と言うと、生徒役の人是最初のチャンクを黙読して記憶します。
- (3) 頃合いをみて、先生役が“Look up and say it !” と言います。
- (4) そうすると、生徒役がテキストから顔をあげて、英文を見ないで記憶したチャンクを声に出して言います。
- (5) 先生役は、これが正しく言えたかどうかを○△×の3段階で判定し、() 内に記入します。
- (6) 最後まで行ったら、先生役と生徒役を交替します。

以上、Repeating と Read & Look-up のいずれを実施するかは、担当の先生の指示に従ってください。

11 Performance Check:

Top-down Shadowing から Repeating (Read & Look-up) と学習を続けてきたら、この Performance Check はほぼ問題なくできるのではないかと思います。オリジナルテキストを見ないで、また朗読音声も聞かずに、テキストのブランクの箇所を再現しながら音読します。個人で音読するときは、パソコンなどを使って録音し、その後ブランクの箇所を自然に思い出しながら音読できているかどうかを自己採点する方法が有効です。あるいは録音しないでペアの学生に聞いてもらって採点する方法もあります。ブランクは5語に1語程度設けてあります。

12 Whole Essay Listening: (後半の Unit のみ)

「(12)Whole Essay Listening」から「(14)Can-do List」は、各エッセイの後半の Unit (偶数の Unit) のみで実施します。各エッセイのまとめの練習で、インプット音声について Shadowing を通じて理解・練習した成果をいよいよアウトプット (Speaking) として発揮する練習です。

まずは、もう一度エッセイ全体を最初から最後まで Listening します。そして、次に行う Essay Retelling を意識して、全体の内容や表現を十分に頭の中に入れてください。2~3回は聞くとよいでしょう。その際、覚えられないと思ったらメモをとります。

13 Essay Retelling: (後半の Unit のみ)

これは仕上げのタスクで、インプットをアウトプット (Speaking) につなぐ練習です。与えられた単語・語句を使って、他の学生とエッセイ全体の内容を自分のことば (英語) で話す練習です。4~5人程度のグループをつくって行ないます。各グループで相談し、ベストリテラーを選びましょう。

あるいは、この Retelling の代わりに Rewriting という方法を活用してもよいでしょう。要は、Retelling と同じように、与えられた単語・語句を使って英語で書いていく練習です。やはり4~5人程度のグループをつくって行ないます。各グループでベストライターを選びましょう。

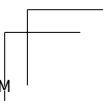
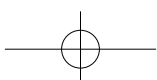
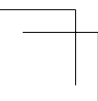
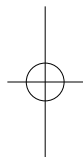
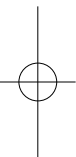
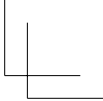
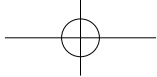
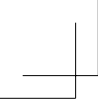
以上の Retelling と Rewriting のいずれを実施するかは、担当の先生の指示に従ってください。

14 Can-do List: (後半の Unit のみ)

以上の 01-13 までの学習 (タスク) が完了して十分な学習ができれば、その成果を Can-do リストのチェックを行う (○△×の3段階で判定) ことで自身の脳にインプットします。そうすることで、皆さん自身がどこまでできるようになったか、その成長のプロセスを実感できるようになります (これを「メタ認知」と呼んでいます)。その結果、どのように学習したらうまくいくか、今後の学習において自己の学習を意識的にコントロールできるようになります。

CONTENTS

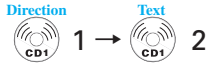
はじめに	3
本書の学習法	4
Unit 1 Left-handedness (1)	9
Unit 2 Left-handedness (2)	17
Unit 3 Solar Power (1)	27
Unit 4 Solar Power (2)	33
Unit 5 Robots (1)	41
Unit 6 Robots (2)	47
Unit 7 Motivation (1)	55
Unit 8 Motivation (2)	61
Unit 9 Sleep (1)	69
Unit 10 Sleep (2)	75
Unit 11 Intercultural Communication (1)	83
Unit 12 Intercultural Communication (2)	91
Unit 13 Age and Language Learning (1)	97
Unit 14 Age and Language Learning (2)	103



Unit 1

Left-handedness (1)

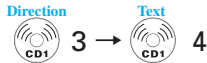
01 First Listening:



Listen to the passage without looking at the text. How much do you understand?

何も先入観を持たずに、音だけを追って聞いてみましょう。そしてどのくらい英語が理解できるか試してみます。最終的には、音声を聞いて繰り返し、その内容を Retelling できるまで訓練していきます。途中で詰まっても気にせずにとんどん進んでいきましょう。メモを取ってもかまいません。内容の詳細にこだわる必要はありません。仮に内容が十分に理解できない場合でも気楽に分かる部分を楽しんでください。さあ、まずは2～3回聞いてみましょう。

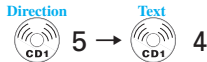
02 Bottom-up Shadowing:



Shadow the passage without looking at the text. How correctly can you shadow it?

では次に、音声を聞き、すぐ後に付けて言う Shadowing をしてみましょう。この段階では英文テキストは絶対に見ないようにします。誰も完璧にできる人はいません。うまくできない箇所があっても気にしないで、少しでもできる箇所があればそれによしとしましょう。完璧主義を捨てて、どの程度 Shadowing できるかチャレンジするという精神が大切です。最初はみなさんひとりで、その後はペアの人と交互に Shadowing します。恥ずかしがらずしっかりと発音して、ペアの人に聞いてもらいましょう。

03 Performance Check:



Check your partner's shadowing performance. How many of the passage words in bold in the handout does he or she correctly reproduce?

ここでは、Shadowing がどの程度できているかについてチェックします。これは、担当の先生から本書とは別の採点用紙を配布してもらって実施します。指定用紙には、Bottom-up Shadowing 用のテキストに一部太字で印字された語が含まれています。他の部分は無視し、その太字の単語の Shadowing がほぼ再生できているかどうかを判断します。自身で自己評価をするだけでなく、別の学生とペアを組み、その人にチェックしてもらおうとよいでしょう。あるいは iPod や IC レコーダに録音できる場合は、録音・再生して自身でチェックします。

それでは、配布された採点用紙を見て、太字の語の Shadowing ができているかどうかチェックし、うまく再生された太字の単語の数を採点欄の「再生語数 (Bottom-up Shadowing)」に記入しましょう。

04 Vocabulary Check:

How many of the passage's key words and phrases listed below do you know?

ここではテキスト中の重要な語彙について適切な定義を選択します。英文中でその語がどのような意味で使われていたかをできるだけ前後の文脈を見ながら推測するようにしましょう。

<Vocabulary Check>

Match the words and phrases on the left with the synonyms or definitions on the right.

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| 1. preference | • | • a. disability related to studying |
| 2. genetic | • | • b. weak position; handicap |
| 3. associated with | • | • c. type of reading disorder |
| 4. discriminated against | • | • d. a speech problem where sounds are repeated involuntarily |
| 5. connotation | • | • e. disease caused by overreactive antibodies |
| 6. disadvantage | • | • f. implication; suggested meaning |
| 7. auto-immune problem | • | • g. related to heredity |
| 8. learning disorder | • | • h. fondness |
| 9. dyslexia | • | • i. to be linked; related to |
| 10. stuttering | • | • j. treated unfairly; looked down upon |

05 Comprehension Check:

Now read the passage in “07 Parallel Reading” (page 12). Are the following statements true (T) or false (F) ?

テキスト（「07 Parallel Reading」に掲載）を読み、英文がテキストの内容に合致しているか否かを判断してください。

<Comprehension Check (T/F Questions)>

Write T if the statement is true, and F if it is false.

- () It is believed that about ten percent of people are born left-handed.
- () One reason some people are born left-handed is because it is biologically determined.
- () Research concludes that left-handed people are more intelligent and creative than right-handed people.
- () The word “left” has often been used to express negative meanings.
- () Even today, many schools force left-handers to do some tasks with their right hands.
- () It is sometimes hard for left-handed people to use certain tools and furniture.
- () Some recent research suggests that right-handed people are more likely to suffer from learning disorders, dyslexia, and stuttering than left-handed people.

06 Grammar Check:

Here are some important grammar points from the passage. Read the explanations and sample sentences below and do the exercises that follow.

これは、テキスト中の英文に含まれる重要な構文や表現についての解説および練習問題です。解説をよく読み、担当の先生の説明と併せて理解するようにしてください。

<Grammar Points>

Point 1: 受身表現

Left-handedness is believed to occur in less than ten percent of all people.

(左利きは、すべての人々のうちの 10% 未満に起こると信じられている。)

上記の文は、以下の文が受身形になったものと考えられます。

People (They) believe that left-handedness occurs in less than ten percent of all people.

また、この文の受身形としては、以下も考えられます。

It is believed that left-handedness occurs in less than ten percent of all people.

Point 2: 現在完了形の受身表現

Left-handedness has been associated with creativity and intelligence.

(左利きは、創造性や知性と結びつけられてきた。)

上記の文は、以下の文が受身形になったものと考えられます。

People (They) have associated left-handedness with creativity and intelligence.

Point 3: 省略と代名詞

“Left” has always had negative or “wrong” connotations, and “right” positive or “correct” ones.

(「左」はいつもマイナスあるいは「間違った」意味合いを、そして「右」は常にプラスあるいは「正しい」意味合いを持ってきた。)

上記の文では、繰り返しを避けるために省略されている箇所があります。もともとは以下に示す () の箇所があったものと思われる。

“Left” has always had negative or “wrong” connotations and “right” (has always had) positive or “correct” ones.

英語では、繰り返しを避けるためにこのような省略が頻繁に行われます。なお、文末の ones は connotations を表しています。同じ名詞が繰り返されるのを避けるために、このように代名詞も頻繁に使われます。

<EXERCISE 1>

Translate these sentences into Japanese.

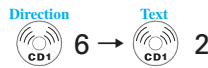
- Carelessness is believed to have been the cause of the accident.
- Left-handed people have been discriminated against for being “different.”
- I have known him for many years and her for even longer.

<EXERCISE 2>

Translate these sentences into English, using the hints in parentheses.

1. 左利きであることは多くの問題を起こすと信じられてきた。(believe)
2. 左利きは劣ると考えられてきた。(associated, inferiority)
3. 私は赤い車を持っている。彼は黒いのを持っている。(one)

07 Parallel Reading:



Now shadow the passage below as you listen and read it. How correctly can you shadow it?

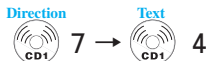
英文テキストを見ながら、意味内容を追いかけてつ、同時に朗読音声に付いて遅れないように繰り返します。最初は遅れないようにスピードに付いていくことに注意してください。その後、少しでも余裕ができたなら、可能な限り英文の意味内容を誰か別の人に聞かせる気持ちで行なってください。その際、朗読音声において、強く発音しているところと弱く発音しているところや高く発音しているところと低く発音しているところを意識して真似るようにしましょう。そうすると、皆さんの英語のリズムやイントネーションなどのプロソディが英語らしくなってきます。

Left-handedness—a person’s preference for using the left hand instead of the right for everyday activities like writing, cutting, and throwing—is believed to occur in less than ten percent of all people. There are several possible causes for left-handedness, with research finding both genetic and environmental links.

While left-handedness has sometimes been associated with creativity and intelligence, throughout much of history left-handers have been discriminated against for being “different.” In fact, in many of the world’s languages, “left” has always had negative or “wrong” connotations, and “right” positive or “correct” ones. In the past, teachers and parents even forced left-handed children to write and do other tasks with their right hand, although this is not common today.

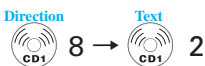
Left-handed people were also (and sometimes continue to be) at a disadvantage in terms of everyday tools such as scissors and knives as well as other types of equipment—even furniture.

And as if that wasn’t enough, some recent research indicates that left-handed people are more likely to experience auto-immune problems, learning disorders, dyslexia, and stuttering.

08 Top-down Shadowing:

Now shadow the passage again without looking at the text. Can you shadow it better than you did before?

今度は、英文テキストを見ないで、音声だけを聞いて意味内容に注意しながら Shadowing します。できるだけ正確に、英語音声の後をすぐにぴったりと追いかけるようにしてください。特に、前置詞、冠詞、単数・複数、動詞の語形変化など細かい点にも注意して間違えないようにしましょう。

09 Performance Check:

Check your partner's shadowing performance again. How many of the passage words in bold in the handout does he or she correctly reproduce this time?

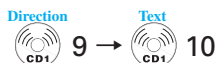
ここでは、Shadowing がどの程度できているかをもう一度チェックします。これは、担当の先生から配布済みの本書とは別の採点用紙を配布してもらって実施します。指定用紙には、英文テキストに一部太字で印字された語が含まれています。他の部分は無視し、その太字の単語が Shadowing でうまく再生されているかどうかを判断します。

また、テキスト中のすべての単語を対象に、Shadowing でできなかった箇所に下線を引き、「100 マイナス誤り語数」で成績を出す方法もあります。

以上の2つの採点法のうちどちらを実施するかは、担当の先生の指示に従ってください。

これらのチェックは自分自身で行うだけでなく、別の学生とペアを組み、その人にチェックしてもらうとよいでしょう。あるいは iPod や IC レコーダに録音できる場合は、録音・再生して自身でチェックします。

では、配布された採点用のプリントをもう一度見て、太字の語が Shadowing できているかどうかをチェックして、うまく再生された単語の数を、今度は採点欄の「再生語数 (Top-down Shadowing)」に記入しましょう。

10 Repeating:

Check your partner's repeating performance. How correctly does he or she reproduce the words in each of the chunks in the passage below?

これは、すでに学習した英文テキスト内の語彙や表現を定着できるようにするためのトレーニングです。音声を聞いて、英語をいったん頭の中で覚えましょう。その後、覚えた英文をポーズの間に声に出して行ってください。

あるいは、ここでこの Repeating の代わりに、もし先生が、Read & Look-up を活用される場合は、もう一度「本書の学習法」を参照して、要領をつかんでください。

- *****
- (1) 2人ペアになり、先生役と生徒役に分かれます。
 - (2) 先生役が、“Read !” と言うと、生徒役の方は最初のチャンクを黙読して記憶します。
 - (3) 頃合いをみて、先生役が “Look up and say it !” と言います。
 - (4) そうすると、生徒役がテキストから顔をあげて、英文を見ないで記憶したチャンクを声に出して言います。
 - (5) 先生役は、これが正しく言えたかどうかを○△×の3段階で判定し、() 内に記入します。
 - (6) 最後まで行ったら、先生役と生徒役を交替します。
- *****

以上、Repeating と Read & Look-up のいずれを実施するかは、担当の先生の指示に従ってください。いずれの練習も別のペアの学生と教科書を交換しながら実施します。

次は、斜線 (//) が入ったテキストです。この // から // までのチャンクがうまく Repeating あるいは Read & Look-up できるかどうか、ペアの相手の人と教科書を交換しながら、○△×の3段階で評価しましょう。○はチャンクが正確にいった場合、△は一部間違えたが他はいえた場合、×はまったくいえなかった場合です。ではスタートです。

Left-handedness ()// —a person’s preference ()// **for** using the left hand ()// **instead** of the right ()// **for everyday** activities ()// like writing, cutting, **and** throwing— ()// is believed to **occur** ()// in less than ten **percent** ()// of all people. ()// There **are** several possible causes ()// **for left-handedness**, ()// with research finding both **genetic** and environmental links. ()//

While **left-handedness** ()// has sometimes been associated ()// **with** creativity and intelligence, ()// throughout **much** of history ()// left-handers have **been** discriminated against ()// for being “**different**.” ()// In fact, ()// in many of the world’s languages, ()// “left” **has** always had negative ()// or “**wrong**” connotations, ()// and “right” ()// positive **or** “correct” ones. ()// In the **past**, ()// teachers and parents ()// even **forced** left-handed children ()// to write **and** do other tasks ()// with **their** right hand, ()// although this **is** not common today. ()//

Left-handed **people** were also ()// (and sometimes **continue** to be) ()// at a **disadvantage** ()// in terms of everyday **tools** ()// such as scissors and **knives** ()// as well as other **types** of equipment ()// —even furniture. ()//

And as if that wasn’t **enough**, ()// some recent research indicates ()// **that** left-handed people ()// are more **likely** to experience ()// auto-immune problems, ()// **learning** disorders, ()// dyslexia, and stuttering. ()//

再生チャンク (○) 数	採点者氏名
chunks	

11 Performance Check:

Check your partner's oral reading of the passage below. Does he or she fill in the blanks with the correct words?

英文テキストは見ないで、また朗読音声も聞かずに、ブランクの箇所を再現しながら声に出して音読します。個人で音読するときは、iPod (IC レコーダ) やパソコンなどを使って録音し、その後ブランク箇所が自然に思い出しながらできているかどうかを自己採点します。あるいは別のペアの学生に聞いてもらい、採点してもらってもよいでしょう。ブランクは5語に1語程度設けてあります。それでは、ブランクの箇所を再現しながら音読しましょう。ペアの学生と教科書を交換しながらやっていきます。

Left-handedness—a person's preference () using the left hand () of the right for () activities like writing, cutting, () throwing—is believed to () in less than ten () of all people. There () several possible causes for (), with research finding both () and environmental links.

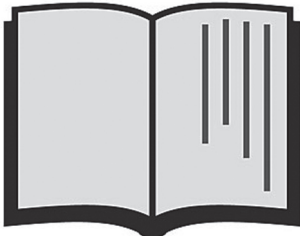
While () has sometimes been associated () creativity and intelligence, throughout () of history left-handers have () discriminated against for being “().” In fact, in many () the world's languages, “left” () always had negative or “()” connotations, and “right” positive () “correct” ones. In the (), teachers and parents even () left-handed children to write () do other tasks with () right hand, although this is not common today.

Left-handed () were also (and sometimes () to be) at a () in terms of everyday tools such as scissors and () as well as other () of equipment—even furniture.

() as if that wasn't (), some recent research indicates () left-handed people are more () to experience auto-immune problems, () disorders, dyslexia, and stuttering.

再生ブランク数	採点者氏名
blanks	

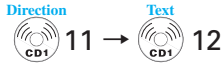
Handwriting practice area consisting of 20 horizontal blue lines. The first 17 lines are evenly spaced. The final three lines are grouped together and positioned to the left of an open book icon.



Unit 2

Left-handedness (2)

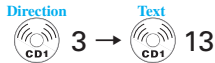
01 First Listening:



Listen to the passage without looking at the text. How much do you understand?

何も先入観を持たずに、音だけを追って聞いてみましょう。そしてどのくらい英語が理解できるか試してみます。最終的には、音声を聞いて繰り返し、その内容を Retelling できるまで訓練していきます。途中で詰まっても気にせずにとんどん進んでいきましょう。メモを取ってもかまいません。内容の詳細にこだわる必要はありません。仮に内容が十分に理解できない場合でも気楽に分かる部分を楽しんでください。さあ、まずは2～3回聞いてみましょう。

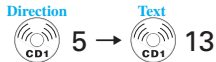
02 Bottom-up Shadowing:



Shadow the passage without looking at the text. How correctly can you shadow it?

では次に、音声を聞き、すぐ後に付けて言う Shadowing をしてみましょう。この段階では英文テキストは絶対に見ないようにします。誰も完璧にできる人はいません。うまくできない箇所があっても気にしないで、少しでもできる箇所があればそれによしとしましょう。完璧主義を捨てて、どの程度 Shadowing できるかチャレンジするという精神が大切です。最初はみなさんひとりで、その後はペアの人と交互に Shadowing します。恥ずかしがらずしっかりと発音して、ペアの人に聞いてもらいましょう。

03 Performance Check:



Check your partner's shadowing performance. How many of the passage words in bold in the handout does he or she correctly reproduce?

ここでは、Shadowing がどの程度できているかについてチェックします。これは、担当の先生から本書とは別の採点用紙を配布してもらって実施します。指定用紙には、Bottom-up Shadowing 用のテキストに一部太字で印字された語が含まれています。他の部分は無視し、その太字の単語の Shadowing がほぼ再生できているかどうかを判断します。自身で自己評価をするだけでなく、別の学生とペアを組み、その人にチェックしてもらおうとよいでしょう。あるいは iPod や IC レコーダに録音できる場合は、録音・再生して自身でチェックします。

それでは、配布された採点用紙を見て、太字の語の Shadowing ができているかどうかチェックし、うまく再生された太字の単語の数を採点欄の「再生語数 (Bottom-up Shadowing)」に記入しましょう。

04 Vocabulary Check:

How many of the passage's key words and phrases listed below do you know?

ここではテキスト中の重要な語彙について適切な定義を選択します。英文中でその語がどのような意味で使われていたかをできるだけ前後の文脈を見ながら推測するようにしましょう。

<Vocabulary Check>

Match the words and phrases on the left with the synonyms or definitions on the right.

- | | | |
|------------------|---|--------------------------|
| 1. apply to | • | • a. movement; direction |
| 2. high-achiever | • | • b. academic; scholarly |
| 3. intellectual | • | • c. successful person |
| 4. achievement | • | • d. to be true for |
| 5. stigma | • | • e. to mirror |
| 6. reflect | • | • f. attainment; success |
| 7. trend | • | • g. disgrace; shame |

05 Comprehension Check:

Now read the passage in “07 Parallel Reading” (page 20). Are the following statements true (T) or false (F) ?

テキスト（「07 Parallel Reading」に掲載）を読み、英文がテキストの内容に合致しているか否かを判断してください。

<Comprehension Check (T/F Questions)>

Write T if the statement is true, and F if it is false.

- () Both left-handed men and women earn more than right-handed men and women.
- () Left-handed people are more likely to be found among society's high-achievers than expected.
- () As the left-handed population gets larger, social and economic problems may increase.
- () Negative images of left-handedness have largely disappeared and people are now able to express themselves more naturally and freely.
- () It can be concluded that stigmas associated with left-handedness came from the idea that being “different” is somehow not beneficial to society.

06 Grammar Check:

Here are some important grammar points from the passage. Read the explanations and sample sentences below and do the exercises that follow.

これは、テキスト中の英文に含まれる重要な構文や表現についての解説および練習問題です。解説をよく読み、担当の先生の説明と併せて理解するようにしてください。

<Grammar Points>

Point 1: 2 つ以上の名詞節を目的語とする述語動詞

Some research has found that left-handed men earn more than right-handed men on average, and that there is a larger percentage of left-handers than expected among society's high-achievers.

(左利きの人の方が平均して右利きの人よりもお金を儲け、社会で成功している人の割合が左利きの人の方が期待値を上回っているという研究結果がある。)

上記の文において、2 つ目の that 節 (there is a larger...) は文頭の Some research has found に続いています。つまり、Some research has found は 2 つの節を目的語としているわけです。そのことを明確にするために there is a larger ... の前に接続詞の that が繰り返されています。もしこの that がなければ、後半の文は独立したものになってしまいます。ちなみに、Some research has found の直後の that は省略可能ですが、2 つ目の that は通常省略しません。

Point 2: 過去分詞の形容詞的用法

Today, stigmas associated with left-handedness have largely disappeared.

(今日、左利きであることと結びついたマイナスイメージは大部分なくなっている。)

上記の文において、associated with left-handedness は直前の名詞 stigmas を修飾しています。過去分詞にはこのように名詞を修飾する働きがあります。

なお、過去分詞が単独で名詞を修飾する場合は、通常、名詞の前に置かれます。

例) a broken bone (折れた骨)、finished products (完成品)

Point 3: 先行する文全体を受ける関係代名詞 which

Stigmas associated with left-handedness have largely disappeared, and people are now freer to be their natural selves, which reflects larger trends in society overall.

(左利きにまつわるマイナスイメージは大部分なくなり、人々は以前よりも自由に本来の自分のままでいられるようになっている。そしてそのことは、社会全体のより大きな流れを反映したものである。)

上記の文において、後半の関係代名詞 which は、先行する文 (people are now freer to be their natural selves) 全体を受けていると考えられます。つまり、「人々が自然なままに自分を自由に表せる、自分のままでいられるということは、左利きのことに限らず、社会全体の大きな流れを反映したものである。」という意味になります。このように、関係代名詞 which は先行する文全体 (あるいはその一部) を受けることができます。いわゆる関係代名詞の継続用法です。

<EXERCISE 1>

Translate these sentences into Japanese.

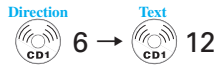
1. He said that he has many friends, and that they are a treasure for him.
2. The accident caused by the driver's carelessness cost many lives.
3. The suspect said that he was home on the day the accident happened, which is a lie.

<EXERCISE 2>

Translate these sentences into English, using the hints in parentheses.

1. 私は、彼女がアメリカで生まれ、最近日本に帰ってきたということを知った。(learn, return)
2. 彼の努力によって解決された問題はたくさんある。(thanks to)
3. 彼は裕福な家庭の出身である。彼はそのことを誇りにしている。(proud)

07 Parallel Reading:





Now shadow the passage below as you listen and read it. How correctly can you shadow it?

英文テキストを見ながら、意味内容を追いかけてつ、同時に朗読音声に付いて遅れないように繰り返します。最初は遅れないようにスピードに付いていくことに注意してください。その後、少しでも余裕ができたなら、可能な限り英文の意味内容を誰か別の人に聞かせる気持ちで行なってください。その際、朗読音声において、強く発音しているところと弱く発音しているところや高く発音しているところと低く発音しているところを意識して真似るようにしましょう。そうすると、皆さんの英語のリズムやイントネーションなどのプロソディが英語らしくなってきます。



But there is some good news as well. Studies have found that on average left-handed men earn more than right-handed men (a difference which does not apply to women), and that left-handers represent a larger percentage than expected of society's high-achievers. Furthermore, the percentage of left-handers in society may be increasing, which suggests that we can look forward to even greater intellectual and economic achievements in the years ahead.

Today, stigmas associated with left-handedness have largely disappeared. People are now freer to be their natural selves, which reflects larger trends in society overall, allowing us to express our differences more openly and to build on and use them for the benefit of everyone.

08 Top-down Shadowing:Direction  7 →  13

Now shadow the passage again without looking at the text. Can you shadow it better than you did before?

今度は、英文テキストを見ないで、音声だけを聞いて意味内容に注意しながら Shadowing します。できるだけ正確に、英語音声の後をすぐにぴったりと追いかけるようにしてください。特に、前置詞、冠詞、単数・複数、動詞の語形変化など細かい点にも注意して間違えないようにしましょう。

09 Performance Check:Direction  8 →  12

Check your partner's shadowing performance again. How many of the passage words in bold in the handout does he or she correctly reproduce this time?



ここでは、Shadowing がどの程度できているかをもう一度チェックします。これは、担当の先生から配布済みの本書とは別の採点用紙を配布してもらって実施します。指定用紙には、英文テキストに一部太字で印字された語が含まれています。他の部分は無視し、その太字の単語が Shadowing でうまく再生されているかどうかを判断します。

また、テキスト中のすべての単語を対象に、Shadowing でできなかった箇所に下線を引き、「100 マイナス誤り語数」で成績を出す方法もあります。

以上の2つの採点法のうちどちらを実施するかは、担当の先生の指示に従ってください。

これらのチェックは自分自身で行うだけでなく、別の学生とペアを組み、その人にチェックしてもらうとよいでしょう。あるいは iPod や IC レコーダに録音できる場合は、録音・再生して自身でチェックします。

では、配布された採点用のプリントをもう一度見て、太字の語が Shadowing できているかどうかをチェックして、うまく再生された単語の数を、今度は採点欄の「再生語数 (Top-down Shadowing)」に記入しましょう。

10 Repeating:Direction  9 →  14

Check your partner's repeating performance. How correctly does he or she reproduce the words in each of the chunks in the passage below?

これは、すでに学習した英文テキスト内の語彙や表現を定着できるようにするためのトレーニングです。音声を聞いて、英語をいったん頭の中で覚えましょう。その後、覚えた英文をポーズの間に声に出して行ってください。

あるいは、ここでこの Repeating の代わりに、もし先生が、Read & Look-up を活用される場合は、もう一度「本書の学習法」を参照して、要領をつかんでください。

- *****
- (1) 2人ペアになり、先生役と生徒役に分かります。
 - (2) 先生役が、“Read!” と言うと、生徒役の人是最初のチャンクを黙読して記憶します。
 - (3) 頃合いをみて、先生役が“Look up and say it!” と言います。
 - (4) そうすると、生徒役がテキストから顔をあげて、英文を見ないで記憶したチャンクを声に出して言います。
 - (5) 先生役は、これが正しく言えたかどうかを○△×の3段階で判定し、() 内に記入します。
 - (6) 最後まで行ったら、先生役と生徒役を交替します。
- *****

以上、Repeating と Read & Look-up のいずれを実施するかは、担当の先生の指示に従ってください。いずれの練習も別のペアの学生と教科書を交換しながら実施します。

次は、斜線 (//) が入ったテキストです。この // から // までのチャンクがうまく Repeating あるいは Read & Look-up できるかどうか、ペアの相手の人と教科書を交換しながら、○△×の3段階で評価しましょう。○はチャンクが正確にいえた場合、△は一部間違えたが他はいえた場合、×はまったくいえなかった場合です。ではスタートです。

But there is some **good** news ()// as well. ()// Studies **have** found ()// that on average ()// **left-handed** men ()// earn more than **right-handed** men ()// (a difference ()// which **does** not apply to **women**), ()// and that left-handers ()// represent **a** larger percentage than expected ()// **of** society's high-achievers. ()// Furthermore, ()// the **percentage** of left-handers in society ()// **may** be increasing, ()// which suggests ()// **that** we can look forward ()// **to** even greater intellectual and **economic** achievements ()// in the years **ahead**. ()//

Today, ()// stigmas associated with **left-handedness** ()// have largely disappeared. ()// People **are** now freer ()// to be **their** natural selves, ()// which reflects **larger** trends ()// in society overall, ()// **allowing** us to express our **differences** ()// more openly ()// and to **build** on and use them ()// **for** the benefit of everyone. ()//

再生チャンク (○) 数	採点者氏名
chunks	



11 Performance Check:

Check your partner's oral reading of the passage below. Does he or she fill in the blanks with the correct words?

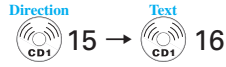
英文テキストは見ないで、また朗読音声も聞かずに、ブランクの箇所を再現しながら声に出して音読します。個人で音読するときは、iPod (ICレコーダ) やパソコンなどを使って録音し、その後ブランク箇所が自然に思い出しながらできているかどうかを自己採点します。あるいは別のペアの学生に聞いてもらい、採点してもらってもよいでしょう。ブランクは5語に1語程度設けてあります。それでは、ブランクの箇所を再現しながら音読しましょう。ペアの学生と教科書を交換しながらやっていきます。

But there is some () news as well. Studies () found that on average () men earn more than () men (a difference which () not apply to ()), and that left-handers represent () larger percentage than expected () society's high-achievers. Furthermore, the () of left-handers in society () be increasing, which suggests () we can look forward () even greater intellectual and () achievements in the years ().

Today, stigmas associated with () have largely disappeared. People () now freer to be () natural selves, which reflects () trends in society overall, () us to express our () more openly and to () on and use them () the benefit of everyone.

再生ブランク数	採点者氏名
blanks	

12 Whole Essay Listening:



Listen to the whole essay (the combined passages from Units 1 and 2). Check your understanding of the content. Feel free to take notes as you listen.

これから行なう3つのタスク（「(12) Whole Essay Listening」から「(14) Can-do List」）は、各エッセイテキストのまとめの練習で、皆さんがインプット音声について Shadowing を通じて理解・練習した成果をいよいよアウトプット（Speaking）として発揮する練習です。

まずは、もう一度エッセイ全体を最初から最後まで Listening します。そして、次に行う Essay Retelling を意識して、全体の内容や表現を十分に頭の中に入れてください。2～3回は聞くとよいでしょう。その際、覚えられないと思ったらメモをとりましょう。

13 Essay Retelling:

Now retell or reproduce the whole essay using the words and phrases below. You can use your notes to help you.

これは、与えられた単語・語句を使って、ペアの相手にエッセイ全体の内容を自分のことば（英語）で語ってください。4～5人程度のグループをつくって行ないます。各グループで最もうまくできた人（ベストリテラー）を相談して選びましょう。

あるいは、ここで Retelling の代わりに Rewriting を活用してもよいでしょう。要は、Retelling と同じように、与えられた単語・語句を使って英語で書いていく練習です。やはり4～5人程度のグループをつくって行ないます。各グループでもっともよく書けたベストライターを選びましょう。

以上の Retelling と Rewriting のいずれを実施するかは、担当の先生の指示に従ってください。

〈使用する語（句）〉

left-handedness, genetic and environmental, creativity and intelligence, discriminated against, disadvantage, disorders, good news, earn more, high-achievers, intellectual and economic achievements, their natural selves

14 Can-do List:

Evaluate yourself for each of the skills or tasks in the “Can-do List” below. This will help you to check your performance and to see your progress.

最後に、Unit 1、Unit 2 におけるこれまでの学習成果全体を自己判断してください。○△×を（ ）内に記入します。控えめになったり、遠慮したりせずに思った通りの判断をしましょう。ただし、できるだけ一貫した基準を持つように心がけてください。そうすることで、皆さん自身がどこまでできるようになったか、その成長のプロセスを実感できるようになります。

それでは、次の Can-do リストがあてはまるかどうかを自己判断し、○△×を入れましょう。

1. () 最初の Listening で英文テキストの内容はほぼ理解できた。
2. () 最初の Bottom-up Shadowing の段階でほぼ完璧に再生できた。
3. () テキストに使用されている単語はほぼ知っている語であった。
4. () 内容理解の T/F の問いにはすべて自信をもって解答できた。
5. () テキスト内の文法や構文はほぼすべて知っているものであった。
6. () テキストの Parallel Reading では、内容を別の人に十分に伝えることができた。
7. () 内容を理解した後で行った Top-down Shadowing も、別の人にうまく内容を伝えることが

できるだけうまく実行できた。

8. () Repeating (あるいは Read & Look-up) もうまくできた。
9. () Oral Reading においても、正しく () 内を補って音読ができた。
10. () Essay Retelling (あるいは Rewriting) も、ほぼ納得できるぐらいうまくできた。